

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画策定検討委員会（第1回）委員意見集約

◎施設機能・内容について

委員名	意見要旨	委員会での回答等
福島委員 (青少年C)	○大畑少年センターにおいてロシアからの交流は青年が多く、大畑の利用対象者（小・中学生）との年齢差が大きい。 ○利用者幅の制限が難しい。 ○国際青少年センターとアートが融合できれば、活動の幅が広がる。	
近藤委員 (青少年C)	○国際青少年センターと芸術創造ファクトリーが重なり合って交流を深めることができるのであれば、そのようなスペースがあるのが良いと思う。	
丹治委員 (創造F)	○芸術は社会に対し異質なもの。それを踏まえた上で、青少年との交流することで新たな発見が生まれるのではないかな。	
逸見委員 (創造F)	○海外ではタトゥーもアートであり、そのような方が青少年と活動するのはいかなものか。	排除ではなく、どこまで融合できるか。
池主委員 (創造F)	○実際に使用するであろうアーティストの意見を聞いた方が良い。 ○国際青少年センターと芸術創造ファクトリーのゾーニングについては、製作現場と生活部分を明確に区分したほうが良い。また、子どもの製作現場の見学については、許可制度を設けるなど、子どもとアーティストの双方に考慮した対応が望まれる。 (理由) ・アーティストの製作現場では、子どもによる破損事故発生の危険性がある。 ・生活部分においては、青少年保護の観点から。	
菊野委員 (創造F)	○公民館、美術館とは、コンセプトが被る部分が多いため、芸術創造ファクトリーの独自性を創出し、差別化を図るべき。 ○新潟の伝統技術の継承者育成の機能を追加して、アートとのコラボレーションを図ってはどうか。 例) 新潟漆器、白根仏壇、亀田縞 ○実施に使用するであろうアーティストの意見を聞いた方が良い。	

◎旧二葉中学校跡地利活用（全体）について

委員名	意見要旨	委員会での回答等
福島委員 (青少年C)	○（地域・魅力創造部資料「跡地周辺活用計画案」の説明を受けて）自然体験活動を重視するのであれば、グラウンドに建物を建てることは、若干不都合があるのではないかな。	計画案は未決定の内容。二葉中校舎中心で考えて頂いて良い。
逸見委員 (創造F)	○駐車場の台数想定があれば、教えて頂きたい。	具体的な台数の想定はない。施設利用者数の想定を考える必要がある。
菊野委員 (創造F)	○施設の利便性を確保するため、公共交通機関の充実を図るべき。また、子どもの送迎を想定すると駐車場も確保する必要がある。 例) 路線バスを新潟市美術館から延長することを検討する必要がある。	

◎施設運営について

委員名	意見要旨	委員会での回答等
中村委員 (青少年C)	○国際青少年センターと芸術創造ファクトリーを複合化した時にどのような方向性になるのかの議論も必要ではないか。両施設をまとめられるディレクターを探すのは難しいのではないかな。 ○総論としては、世代を超えた交流、複合化が良いという大きな方向性。 ○5年、10年後までも続いていく施設にしなければならない。	
長浜委員 (青少年C)	○国際青少年センターと芸術創造ファクトリーの経営形態が各々で変わるのであれば、考慮した検討が必要。	
丹治委員 (創造F)	○委員会で運営形態を検討すべき。 新潟で成功する為に3年以降まで考慮した運営形態の検討が望まれる。 ○運営形態はどうするのか。 指定管理者による類似施設の運営では、スタッフが足りないというのが実情。	
池主委員 (創造F)	○アーティストディレクターを設置した場合、芸術創造ファクトリーの運営に携わることになるが、国際青少年センターについてまで運営をすることは困難であるため、運営面でも両施設を区分することが望ましい。	
長井委員 (創造F)	○提案内容は貸借を想定されているのか。	具体的な想定を行ってはいない。成功の鍵はハードではなく、ソフト面であり、力のあがるディレクターによる運営と思う。